

科目名	プログラミング基礎 I		英文表記	Programming I		2014/3/7		
科目コード	1203							
教員名: 神里 志穂子・金城 伊智子・杉本和英 技術職員名: 佐竹 卓彦						作成		
対象学科/専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報通信システム工学科			1年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	①プログラムをコーディングし、コンパイルして実行するまでの手順を習得する。 ②関数の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。 ③与えられた簡単な問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。							
総合評価	前期・後期評価: 定期試験(中間・期末)の平均の60%+レポート課題30%+課題演習10% 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。							
科目目標 達成度と 評価方法	科目達成度目標			達成度目標の評価方法			目標割合	
	①	①プログラムをコーディングし、コンパイルして実行するまでの手順を習得する。		⇒	定期試験及び演習課題で評価する		20%	
	②	②関数の概念を理解し、これらを含むプログラムを記述できる。		⇒	定期試験及び演習課題で評価する		60%	
	③	③与えられた簡単な問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。		⇒	演習課題で評価する		20%	
本科・専攻科 教育目標	1	2	3	4				
	○		◎					
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		60	0	30	10	100		
基礎的理解	①②	50		10		60		
応用力(実践・専門・融合)	③			10		10		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)						0		
主体的・継続的学修意欲	①②③	10		10	10	30		
授業概要、方針、履修上の注意	講義では、プログラミングに関する基礎を身につけ、コーディングの手法・アルゴリズムの考え方を説明する。C言語を用いたプログラム作成の基礎演習を多く行い、簡単なプログラムを実装する力をつける。							
教科書・教材	教員自作のプリント、パワーポイントのプレゼン資料。 「新訂 新C言語入門 ビギナー編」(ソフトバンクパブリッシング) 「新版 明解C言語 入門編」(ソフトバンクパブリッシング) (他にも参考図書を探す場合のキーワード: C言語 プログラミング)							

**授 業 計 画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス, Unixの基本操作	2	講義で使うUnixの基本操作を学習する		
2	Unixの基本操作1文字入力	2	Unixでの文字入力の方法を学習する	演習に沿った課題を課す	
3	Unixの基本操作2文字入力	2	Unixでのファイルの保存方法とディレクトリの構造を		
4	printf()関数を用いた簡単な	2	C言語の基本となる部分を理解し, 簡単なプログラム		
5	コンパイルとコンパイラ変数と	2	コンパイラの動作を理解する. 変数と関数について		
6	変数	2	変数に関する演習		
7	データ型	2	データ型を学習する		
8	中間試験	2			
9	算術演算子とデータ型と演	2	算術演算子を学習する		
10	コンソール入出力	2	scanf()などのコンソール入出力を学習する		
11	配列	2	配列に関して学習する		
12	フローチャートと制御文	2	フローチャートと制御文のif文について学習する		
13	制御文と関係演算子	2	if文の使い方を習得し関係演算子について学習する		
14	論理演算子	2	条件判断で使われる論理演算子について学習する		
15	繰り返し処理	2	for文の使い方を習得し, 繰り返し処理に関して学習		
期末	期末試験	[2]			
16	制御文の復習	2	if文の使い方を習得し関係演算子について学習する	演習に沿った課題を課す	
17	繰り返し処理の復習	2	条件判断で使われる論理演算子について学習する		
18	switch文	2	switch文を理解し, if文との使い分けを行えるように		
19	while文	2	while文を理解し, for文との使い分けを行えるように		
20	多次元配列と多重ループ	2	多次元配列を理解し, 多重ループを学習する		
21	関数の構成	2	基本的な関数構成と値を返す方法を理解する		
22	引数の扱い	2	関数の作り方と引数について理解する		
23	関数での配列の扱い	2	関数で配列のデータを扱う方法を理解する		
24	中間試験	2			
25	ポインタの基本操作	2	ポインタの基本を理解する		
26	ポインタ演算子	2	ポインタ演算子の処理を理解する		
27	配列とポインタ	2	配列特有のポインタを理解する		
28	ポインタを関数に渡す	2	ポインタ引数などを理解し, 演習を行う		
29	構造体の基本	2	構造体の基本を理解し, データを扱えるようにする		
30	構造体の演習	2	構造体でデータ管理の演習		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①	課題演習(その週の講義内容に沿った内容について演習課題を課す.)			各2時間×14回	
②					
③					
<b>備考欄</b>					